

# 研究トピックス

## 大豆ほ場における 帰化アサガオの防除対策

大豆作では急激に帰化アサガオが蔓延して問題となっていますが、有効な除草方法がありません。そこで、乗用管理機を用いた畦間除草剤散布法を開発し、効率よく除草できることがわかりました。今後は、現地ほ場への適応を目指し、大豆への飛散防止技術、散布適期の確認などについて試験を継続していきます。  
(作物研究部)



畦間除草剤散布



無除草

## コンパクト野菜の研究を始めました

核家族化の進行、健康志向の高まりの中で、扱いやすい小型野菜や栄養価・健康機能性の高い野菜が注目を集めています。産地においても、価格低迷や担い手の高齢化により、コンパクトな野菜の開発が期待されています。

そこで、有望な品種を選定し、栽培適性や品質、機能性の調査を行っています。  
(園芸研究部)



従来品種 有望品種  
(ミニキャベツ)

コンパクト野菜いろいろ

## エンドウ萎凋病抵抗性品種を選定

エンドウ萎凋病は、サヤエンドウの重要病害です。現在本県で栽培されている品種の抵抗性を調査したところ、全て感受性で本病に弱いことがわかり、「三十日」、「つるなし赤花」、「ジャッキー」等、いくつかの抵抗性品種を選定しました。

土壌消毒による化学的防除だけでなく、栽培品種を抵抗性品種に切り替えることも対策となります。  
(環境基盤研究部)



抵抗性品種



感受性品種

## 遺伝子導入で病気に強い カーネーションを作ります

萎凋細菌病はカーネーションの重要病害で、抵抗性品種の育成が望まれています。そこで、昆虫由来の抗菌性遺伝子を導入し、この病害に強いカーネーションの開発に取り組みできました。現在までに、強い耐病性を示す系統が得られています。  
(環境基盤研究部)



図2  
萎凋細菌病接種  
1ヶ月後のカーネーション  
(右：遺伝子導入個体)

編集・発行

愛知県農業総合試験場

〒480-1193愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯1-1

TEL 0561-62-0085 内線323 (企画普及部)

FAX 0561-63-0815

<http://www.pref.aichi.jp/nososi/>